JA ほこた苺部会研究部意見交換会を開催しました

令和7年5月21日に、銚田市のJAほこた営農情報センターにおいてJAほこた苺部会の研究部を対象とした意見交換会を開催し、生産者13名が参加しました。

令和6-7年作のイチゴの収穫が終盤を迎える中、作の振り返りや取り組んだ試験結果について検討を行うとともに、次作に向けてすでに開始している育苗中の注意点などについて情報交換を行いました。

普及センターからは研究部で取り組んでいるアザミウマ類の総合的防除技術実証試験の途中経過として、防虫ネット等の物理的な防除を活用しながら天敵を用いることで、アザミウマ類被害の抑制に繋がった事を報告しました。

また、参加者間で育苗状況や病害虫の発生状況について情報共有が行われ、育苗時で発生しやすい炭そ病やうどんこ病、キノコバエ類の防除を徹底していく重要性を改めて認識し、その効果的な対策についても活発に意見交換が行われました。

前年は育苗期から定植期にかけて記録的な高温となり、花芽分化の遅れや病害虫の多発生が課題となったことから、研究部としても高温対策や病害虫の適切な防除に関する試験に取り組み、収益向上を図っていくことを確認する機会となりました。

普及センターでは引き続き、イチゴの生産性向上につながる技術の普及を図り、イチゴ生産者の所得向上を支援していきます。

銚田普及センター（成長産業）